

*横須賀を中心に近隣のみどころを紹介するコーナーです

第34回 戦艦陸奥の主砲里帰り、海軍ゆかりの地を巡る



平成29年3月25日、横須賀製鉄所(造船所)を前身とする横須賀海軍工廠で建造された「戦艦陸奥」の主砲が、ヴェルニー公園に里帰りをしました。これを機に、海軍ゆかりの地を巡ってみませんか。(距離約9km、所要時間:約3時間)

ゴール

ヴェルニー公園

横須賀製鉄所建設に貢献したフランス人技師・ヴェルニーと当時の勘定奉行・小栗上野介忠順の胸像や、逸見波止場衛門跡、戦艦陸奥と同型艦の戦艦長門の碑などがある。またヴェルニーの功績をたたえて建てられた記念館がある。

*ヴェルニー記念館：入館料無料、開館時間は9:00~17:00(月曜日と年末年始は休館)

中央公園

旧日本軍の演習砲台跡を利用して造られた公園。東京湾入り口を一望でき、視界の良いときはスカイツリーや富士山の姿を見ることがもできる。

無線機開発の実験地

明治33年(1900)、千葉県の津田沼に送信所、横須賀の大津(現・三春町)の海軍用地に受信所を設置し、約54km間の無線通信の実験に成功。日本初の実用的な無線機が海軍で開発されるきっかけとなった。

田戸の赤門 (市民文化資産)

春日神社

もとは猿島に本殿があったが、砲台陣地が建設されることになり、明治17年(1884)に現在地に遷座した。

大津陣屋跡の石橋

江戸時代末期に江戸湾防備のため、川越藩により大津陣屋が設けられ、陣屋の跡地付近一帯は明治に入り海軍の射的場として使われた。大津中学校正門脇に移設された石橋に陣屋跡の面影がわずかに残っている。

歩くときのワンポイントアドバイス

横須賀の起伏にとんだ地形や、階段の多い特徴を楽しみ、市街の発展の過程を想像しながら歩きましょう。狭い道路には気を付けて！

横須賀海軍墓地(馬門山墓地)

明治15年(1882)に海軍省により、戦死もしくは殉職した軍人のために設けられた。戦艦陸奥と同じく火薬庫の爆発により多くの犠牲者が出た戦艦筑波・戦艦河内の「殉難者之碑」などがある。戦後市営墓地となり、毎年5月には墓前祭が行われている。

スタート

北久里浜駅

新大津駅

大津中

大津高

堀ノ内駅

県立大学駅

田戸の赤門

横須賀中央駅

諏訪大神社

汐入駅

JR横須賀駅

ゴール